



たたみいしき だ かい はつしゃ

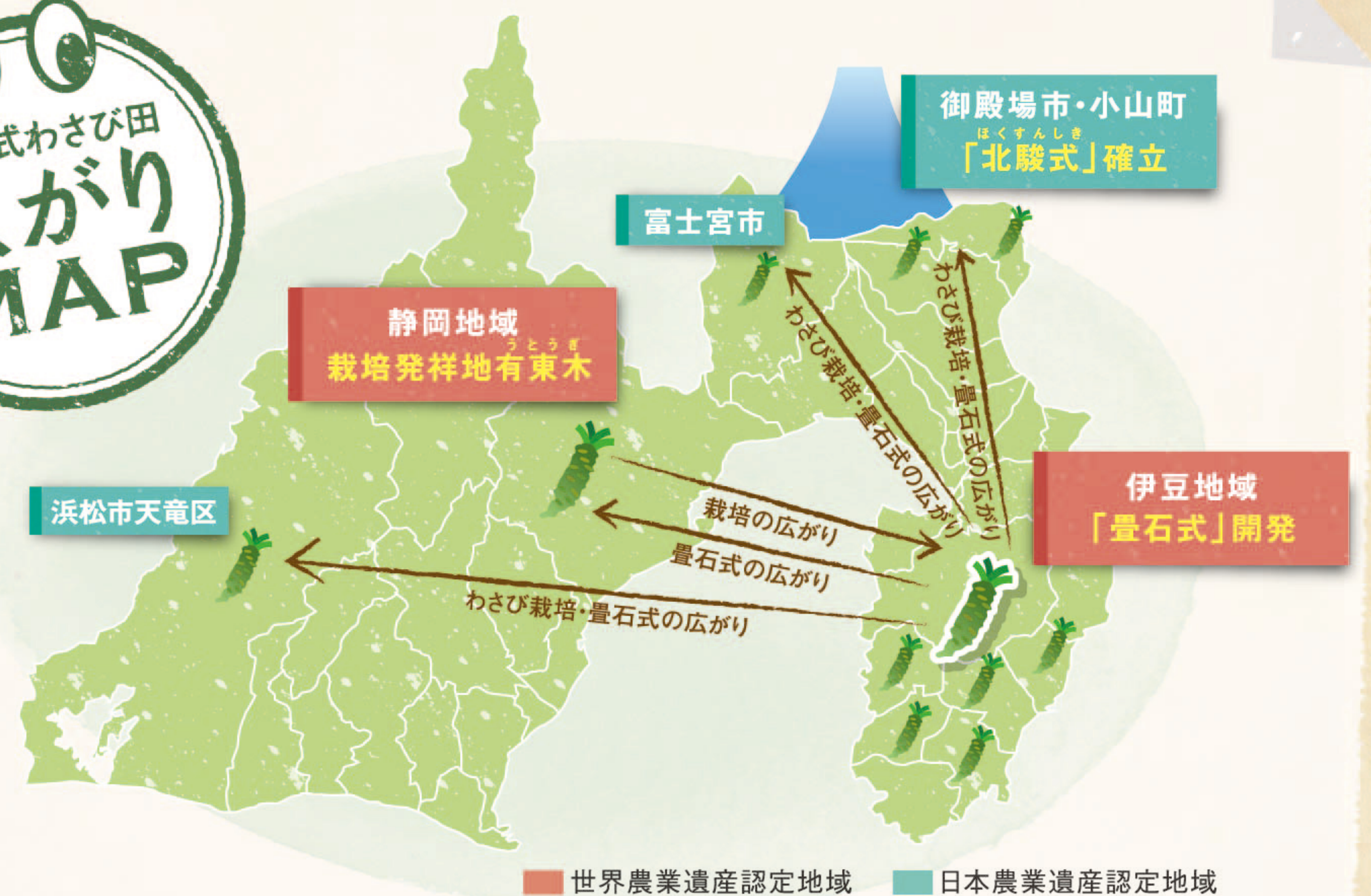
畳石式わさび田の開発者

ひらい くまたろう あゆ

平井熊太郎の歩み



静岡県



各地に広まった畳石式わさび田

静岡市有東木地区で江戸時代初期に日本で初めて始まったわさび栽培は、江戸時代中期に伊豆地域に伝わりました。明治25年頃、腐敗病で苦しんでいた伊豆市で開発された「畳石式」は、昭和5年の伊豆震災や昭和33年の狩野川台風のわさび田復旧工事で伊豆地域へ急速に広まりました。その後畳石式は、わさび栽培とともに県内、そして全国に広がっていきました。



「静岡水わさびの伝統栽培」は世界&日本の農業遺産！



階段状に広がる畳石式わさび田 (伊豆市)

平成29年3月に日本農業遺産、平成30年3月に世界農業遺産に認定！

静岡県の水わさび栽培は、①世界で初めて栽培が始まり、畳石式をはじめとした伝統農法を今も受け継いでいる人々がいる。②湧き水を利用し、肥料や農薬などをほとんど使わない環境にやさしい農法のため、様々な生き物のすみかにもなっている。③わさび田のまわりには自然にあふれたすばらしい景色がある。などが世界に評価されました。

監修/静岡県山葵組合連合会

発行/静岡県経済産業部農業局農芸振興課
TEL:054-221-3299
Email:nogei@pref.shizuoka.lg.jp

参考文献:

静岡県田方郡校長会(1958)「伊豆のひかり」
中伊豆町山葵組合(1991)「中伊豆町山葵組合百年史」

わさびをもっと知るなら
静岡わさび農業遺産
推進協議会のサイトへ!



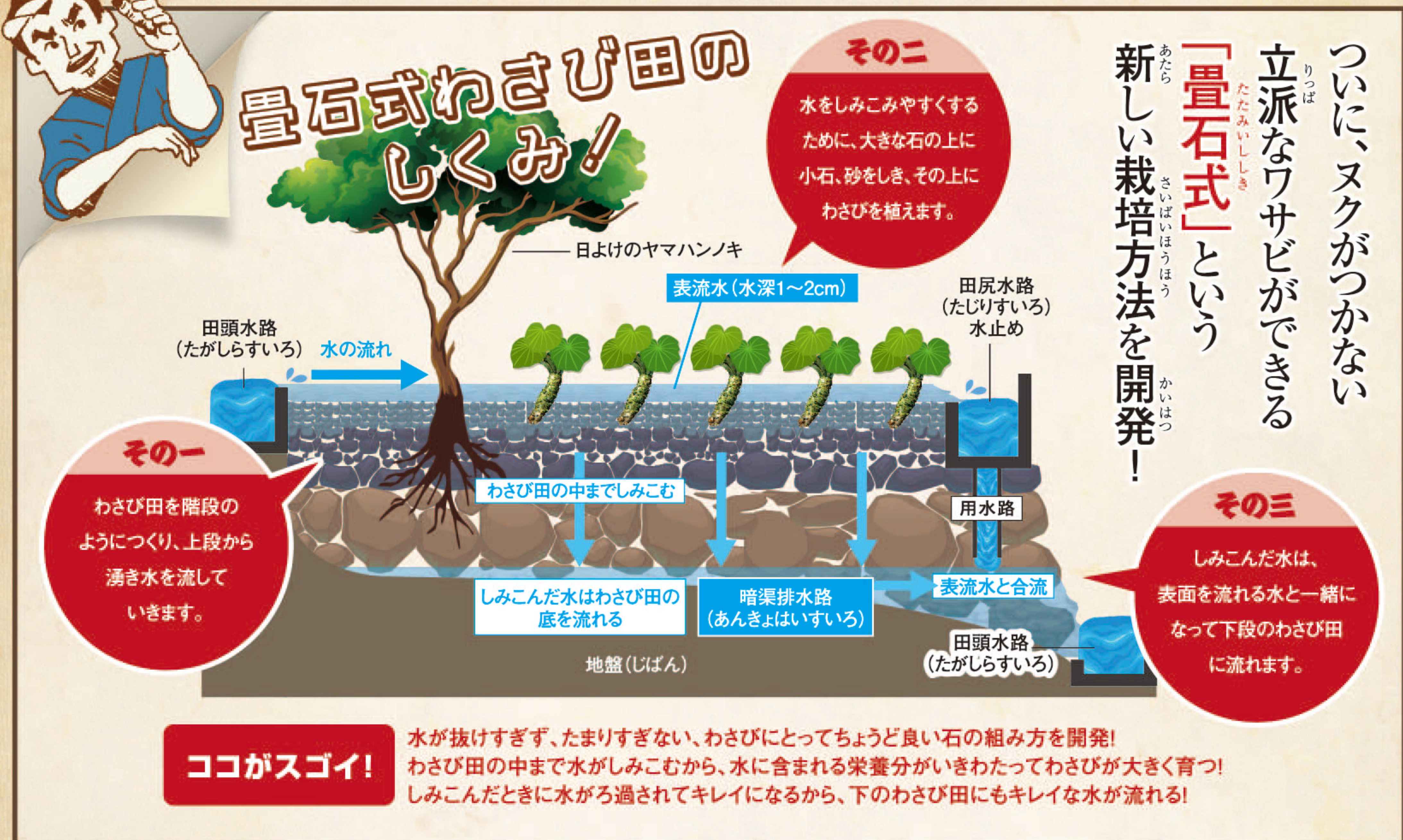
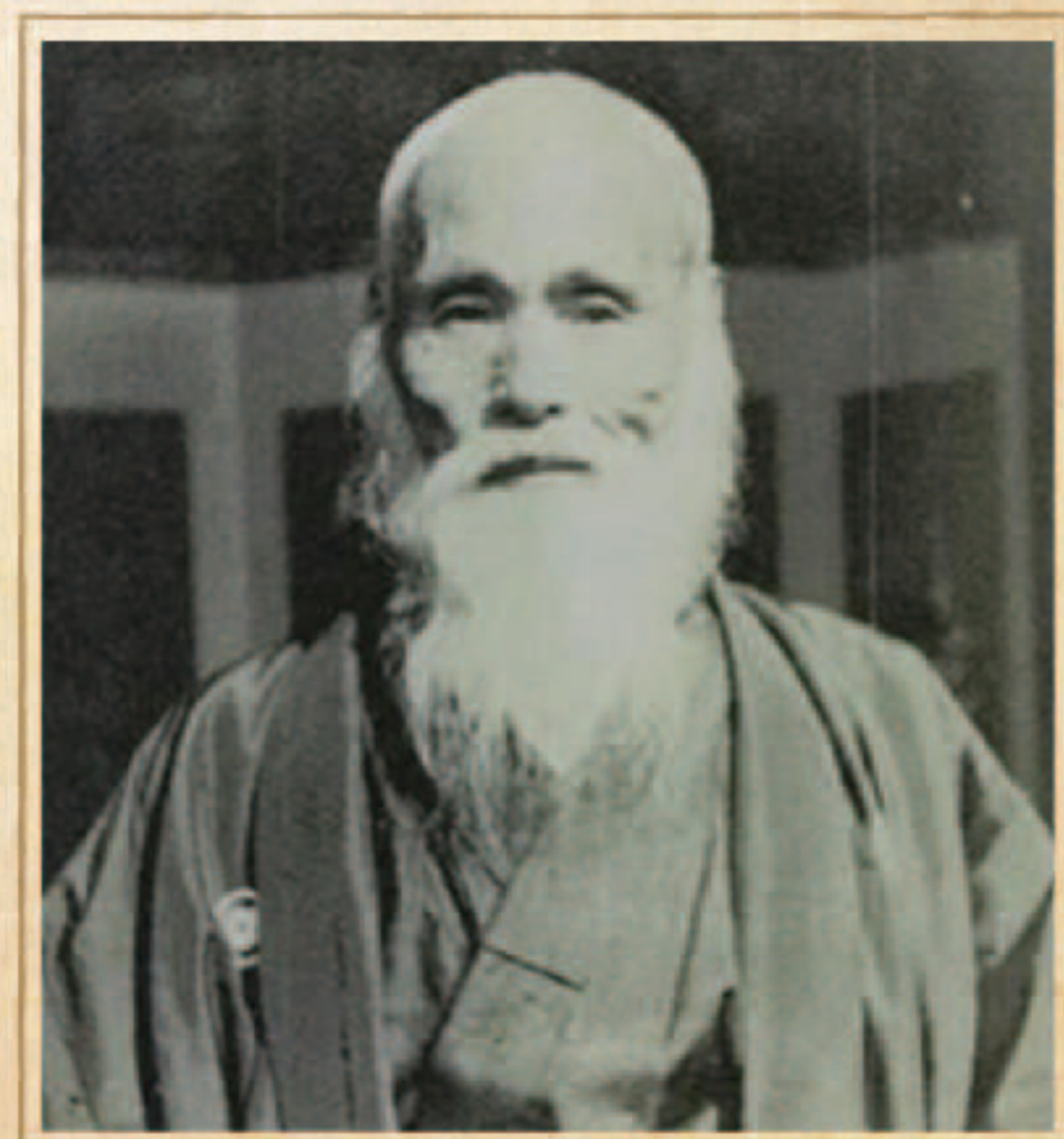
中面へ続く!!



物語の主人公 畳石式わさび田の開発者 平井熊太郎って？

慶応元年 明治13年 明治25年 昭和10年 昭和26年

上大見村原保(現伊豆市)に生まれる。
農家を継ぎ、堤防工事やわさび田工事も研究する。
畳石式わさび田を開発する
功績が認められ、静岡県知事から表彰される。
87才で死去。



もっとわさびを
知るには
裏面へ!